

何処へ

歌・詞・曲：吉田拓郎

※ストローク ↓ ↓ ↑ ↑ ↓ ↑

(G C G G)

G C G C G Em Am D
多くの歌の中に 悲しみが刻まれ 多くの人の心に 喜びが生まれた

G C G C G Em Am D
誰かのために何か できるなどと思わない ただ自分の中の一つを 書き綴っただけなのに
C D C D G C D A ♭ D7
僕よりもそいつらが 大きくなりすぎて 気取ったポーズを見せて 勝手に振るまう

G C G C G Em Am D
たとえば人を愛し 人から愛されて 溢れるばかりの気持ちで 満たされている時

G C G C G Em Am D
言葉がいつも何より 大切なはずもなく 受話器に向かって叫ぶより 逢って確かめたい
C D C D G C D A ♭ D7
それが本当の恋で 真実の愛さ 形の中での話は 歌だけの世界

G C G C G Em Am D
僕が多くの言葉を メロディーに乗せて いくたび唄ったところで 一つのエピソード

G C G C G Em Am D
だけど長い年月をかけて 歌が歩き出す 僕の想いをよそに 一人で歩き出す
C D C D G C D A ♭ D7
いつかこんな世界から 抜け出したとき 誰もが全てを忘れて しまうのだろうか
C D C D G C D A ♭ D7
一人でつぶやく声は たった一人のもの 肩に背負い込むことは ないのだけれど

G C G C G Em Am D
人はいつも一人に 戻ってしまうはずなのに人はいつも誰かに すがってみたいくなる

G C G C G Em Am D
自分の世界を持ちながら 何かにだぶらせて 言葉はあくまで一つの 憧れだったのに
C D C D G C D C D G
何よりも優るのは 自分の心 人の生きる様より 自分の今
C D C D G C D A ♭ D7
歌がたとえば力を 持ったとしても 自分に力がなければ のめり込むだけさ

(G C G C G ↓ slow)